

# 教育新聞

発行所 教育新聞社  
 〒110-0005  
 東京都台東区上野3-17-7  
 代表 電話 03 (3832) 3571  
 FAX 03 (3832) 3570  
 URL <http://www.kyobun.co.jp>  
 E-mail [kyoiku@kyobun.co.jp](mailto:kyoiku@kyobun.co.jp)  
 購読料 2625円 (月額、税込)  
 振替口座 00170-6-4369  
 ©教育新聞社 2007  
 週2回 月・木発行

## “茶化し発言” 受けて授業展開

「せんすいかくん」(笑)  
 …原料や製品を何で運搬すればよいかという私の発問に対する子どもの茶化しである。

日本は原料となる鉄鉱石や燃料となる石油のほとんどを海外に依存しており、製品は大部分が輸出に向け



を生かす —1

玉川学園MMRC遠隔  
 教育推進室 研究員

多賀 譲治

られ、貴重な外貨を稼いでいる。貿易の学習は日本人にとって死活問題でもあり、環境問題とともに社会科の大切な一分野となっている。

授業では「なぜ、工業地帯は海岸部にあるのか？」をテーマにしていた。対象は中学1年生である。「働き手のいる町や工場は平野のある海岸部に集まる」「原料は海外から輸入され

ている」という条件も出していた。「潜水艦」の答えは「どのような運搬手段が一番安価か？」という私の問いに対するウケを狙った反応である。「タンカー」とか「大きい船」というものもあったが、タイムシグがよかったのと周りの子どもがどっと笑ったために、私はあえて「潜水艦」を取り上げることにした。

まず、潜水艦乗組員の敬礼は、肘を脇に付けて行うことを話し、それがなぜなのかを投げかけた。肘を張り、右肩のあたりに指先がくるのが通常の敬礼であ

る。その動作も見せた。「潜水艦の中は狭いから」と誰かが言う。

そこで、実際に潜水艦には何が積んであるのか、どのくらいの大きさなのかを調べてみた。海上自衛隊の代表的な潜水艦「おやしお」は総トン数4000ト、全長82m、乗組員70人と事典に書いてある。

では、大型コンテナ船は？…10〜15万ト、全長350〜400m、乗組員12〜20人である。潜水艦には魚雷発射管とミサイル発射装置も装備されていて、乗組員の居住区をとると余分な空間はほとんどない。

そこで、どちらの船にも小麦を詰め込むことを想定した。量に対する人件費を

考えてみれば、同一量の単価がとつてもなく違うことは子どもたちにもすぐ分かることである。ちなみに、1キタの運搬単価はコンテナ船で約40円、潜水艦に100ト積めたとして12〜16万円…。

ここまでつきつめて調べてみると、笑って聞いていた子どもたちも「なるほど」と思うようになる。

「だから大型船が有利だし、日本も大きな船を造ってきたんだね」の私の言葉がとつてもよく浸透している。

これが分かれば、原料を荷揚げする港の近くで製品に加工して輸出することが効率的で安価なことに気づくのは、容易である。主な

工業地帯がなぜ海岸部にあるのかもこれで分かる。教師は期待した反応や答えを望みがちであるが、授業は生きていくためになかなか思い通りにはならない。平板な授業や教師の思考が前面に出た授業展開には子どもたちも無反応で、質問や疑問は生じない。

教育実習生の授業がなかなかうまくいかないのも同じ理屈だ。授業の目標をしっかりとつかみ、あらかじめ教材研究を十分に行っておけば、子どもたちの思いがけない質問や反応をうまく受け止め、それをつないで結論に結びつけることができる。目的地は同じでも行き方は様々でいいのが、授業である。



多賀 譲治 (たが・じょうじ) 研究員 中学校社会科教師の経験を生かし、教材の開発や遠隔教育での授業法研究を行っている。WEB学習「鎌倉時代の勉強をしよう」(URL) = <http://www.taibanga.ac.jp/setu/kyouken/kamakura/> は、国内最大の学習ページとなっている。専門は歴史。